

事業所用

「防府市環境意識調査 調査票」
【 月 日 () までの返送に、御協力ください。】

貴事業所についておたずねします

当てはまるものに○をつけてください。

業種	() 農林漁業 () 建設業 () 製造業 () 情報通信業 () 運輸業 () 卸売業 () 小売業 () 金融・保険業 () 不動産業 () 飲食店・宿泊業 () 医療・福祉 () 教育・学習支援 () サービス業 () その他 ()
従業員数 (パート・臨時を含む)	() 9人以下 () 10～29人 () 30～49人 () 50～99人 () 100～299人 () 300人以上

環境についてお尋ねします

1 貴事業所で、再生可能エネルギーや省エネルギーの設備を導入している、又は導入を検討しているものはありますか

次の表の各項目について、当てはまると思う数字に○をつけてください

		すでに導入している	導入を予定、検討している	導入の予定はない
①	太陽光発電システム	1	2	3
②	蓄電池	1	2	3
③	太陽熱利用システム ※1	1	2	3
④	LED照明	1	2	3
⑤	コージェネレーションシステム ※2	1	2	3
⑥	次世代自動車(EV等) ※3	1	2	3

- ※1 太陽熱利用：集熱器、蓄熱槽、熱輸送系、熱交換器、断熱材などの技術を組み合わせて行う、太陽のエネルギーをもとにした熱利用
- ※2 コージェネレーションシステム：内燃機関（エンジン、タービン）や燃料電池で発電を行い、その際に発生する廃熱も活用するエネルギー効率の高いシステム
- ※3 次世代自動車：電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル車等の環境負荷の低い自動車

【次のページに続きます】

2 防府市の環境の現状や貴事業所の事業活動について、お聞きします。
次の表の各項目について、あてはまると思う数字に○をつけてください。

		そう 思う	どちらか と い え ば そう 思う	どちら とも い え ない	どちらか と い え ば そう 思 わ ない	そう 思 わ ない
①	エネルギー消費量を把握し、その削減を図っている	1	2	3	4	5
②	省エネ化された製品・商品の開発、製造、販売に努めている	1	2	3	4	5
③	「COOL CHOICE」などのCO ₂ 削減運動に取り組んでいる	1	2	3	4	5
④	事業活動においてエコドライブを実践している	1	2	3	4	5
⑤	従業員に徒歩、自転車、公共交通機関を利用した通勤を促している	1	2	3	4	5
⑥	物流の合理化を図り、車両走行量の削減に努めている	1	2	3	4	5
⑦	事業活動により生じた廃棄物は適正に処理している	1	2	3	4	5
⑧	包装・梱包 ^{こん} の簡素化に努めている	1	2	3	4	5
⑨	長持ちする製品・商品の製造・販売に努めている	1	2	3	4	5
⑩	原材料、資材、燃料などは、再生されたものを積極的に選択している	1	2	3	4	5
⑪	不要となった製品・商品の回収とリサイクルに努めている	1	2	3	4	5
⑫	敷地内やその周辺の緑化に努めている	1	2	3	4	5
⑬	除草や水路等の地域の清掃活動、森林ボランティア活動など環境保全活動に参加している	1	2	3	4	5
⑭	大気汚染や悪臭のない、きれいな空気が確保されている	1	2	3	4	5
⑮	ばい煙、粉じん、悪臭の発生の有無や程度を把握し、対策を講じている	1	2	3	4	5

【次のページに続きます】

		そつ思つ	どちつかといえは そつ思つ	どちつともいえない	どちつかといえは そつ思わな	そつ思わな
⑯	海や川のきれいな水が保たれている	1	2	3	4	5
⑰	排水に当たっては、水質汚濁や土壌汚染への影響を考慮している	1	2	3	4	5
⑱	所有する土地の土壌汚染の有無等について把握している	1	2	3	4	5
⑲	日常生活に必要な静穏が保たれている	1	2	3	4	5
⑳	恒常的な騒音・振動の発生の有無や程度を把握し、対策を講じている	1	2	3	4	5
㉑	事業所内での環境教育・環境学習を実施している	1	2	3	4	5
㉒	地域、NPO、行政等と協働した環境保全活動を行っている	1	2	3	4	5
㉓	環境保全を付加価値とした製品・商品の開発、製造、販売に努めている	1	2	3	4	5
㉔	原材料、資材の調達に当たっては、積極的に地元産を選択している	1	2	3	4	5
㉕	持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を踏まえた取組を行っている	1	2	3	4	5

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。



防府市の環境や取組に対するご意見、ご要望等ありましたら自由にご記入ください。

地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE(=賢い選択)」とは

2015年、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が採択されました。世界共通の目標として、世界の平均気温上昇を2度未満にする(さらに、1.5度に抑える努力をする)こと、今世紀後半に温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることが打ち出されました。日本は、2030年に向けて温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減する目標を掲げています。

この目標達成のために、国は、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、あらゆる「COOL CHOICE(=賢い選択)」をしていこうという取組を呼びかけています。

「COOL CHOICE」の一例

- ・不要な電気をこまめに消灯するという「選択」
- ・クールビズ・ウォームビズを実践するという「選択」
- ・通勤や買い物など、日常生活での移動手段を工夫するという「選択」
- ・環境ボランティアに参加するという「選択」等

身近な生活のなかで、未来のために、いま選択できるアクションを選んでいきませんか。

「COOL CHOICE」×「幸せます」

市では、「“幸せます”のまち防府」の創造のため、防府の地域ブランド「幸せます」とコラボレーションを行い、「COOL CHOICE」を呼びかけています。



防府市 生活環境部 生活安全課
環境政策室 環境政策係
0835-25-2328